

全ての争議を解決し
安全・安心の航空へ

航空連ニュース

航空労組連絡会
大田区羽田 5-11-4 フェニックスビル
Tel 03-3742-3251
Fax 03-5737-7819
No.1025 (35-46) 2021 年 8 月 19 日

御巢鷹山事故から36年

「安全運航確立」のために「解雇争議の解決」を！ 松山空港・岡山駅でアピール

御巢鷹山事故から 36 年！ 520 名の尊い命を失った史上最悪の事故が、昨日のように記憶が蘇ります。この事故により、日本航空の利益優先の体質、モノ言う労働組合潰しが明らかになり、2010 年には、経営破綻を理由にパイロット・客室乗務員 165 名が不当に解雇されました。その解雇争議は 11 年近く経っても未だに解決していません。

そうした中、松山空港と岡山駅でアピール行動が行われ、安全運航の確立のためにも一日も早く解雇争議を解決するよう訴えました。

松山空港



松山空港では 28 名がアピール行動に参加し、「空の安全」を確立するために、解雇争議を解決するよう強く訴えました。うたごえの仲間たちも参加し、「あの空へ帰ろう」「翼よ高く輝け」「見上げてごらん夜の星を」などを歌い、多くの注目をあびました。

人出が少ない中、100 枚のビラを配布できました。

「JAL 不当解雇とたたかう愛媛原告を支える会」の重見事務局長は「コロナ禍で困難な時だからこそ労働者の権利を真正面に据え、不当解雇と闘う愛媛の争議団を応援しよう」と呼びかけました。当日、愛媛民報からの取材がありました。犠牲になられた 520 名の中に、愛媛出身者が 5 名いらしたそうです。(愛媛新聞記事)



岡山駅



【マイクを握る伊原さん】



【前倉敷市議の田辺さん】

「JAL 争議を支援する岡山の会」の伊原さんから下記の報告が届きました

8月12日（木）、JAL 争議を支援する岡山の会は岡山駅西口さんすて広場で、「御巢鷹山のジャンボジェット機墜落事故から36年、空の安全を願う追悼宣伝」を行いました。8名が参加、チラシを150枚配布しました。やはり、パイロットと客室乗務員の解雇問題は今でも注目度は抜群でした。もう3年間使っている横断幕もかわいい柄（勝手に自慢）でこれも一役買っている気がします。

私と前倉敷市議の田辺さんが訴えました。私は「御巢鷹山の事故から36年のこの日、毎年慰霊祭が行われている。空の安全こそ航空業界の使命のはずだ。ところが日本航空は11年前の経営破綻以降、利潤第1主義の経営に大転換。運航方針も安全第1主義を投げ出しベテランの職員を解雇した。さらには破綻した経営の責任を誰も取っていない。解雇問題は、国民世論に押されて赤坂社長は解決すると言いながら、いまだに進んでいない。組合交渉もあって5人が地上職として復帰を果たしているが会社が誤りを認めたわけではない。空の安全こそ国民の願い。この問題に向き合ってほしい」と訴えました。

若い男性がジッとこちらを見ながらしばらく聞いていましたが、仲間の声に反応して「知らなかった。驚いている。コロナで経営が大変だろうから心配だ」と話しました。

また、若い2人組の男性はチラシを受け取り、開いて「こりゃいけん、絶対にいけん」と声を上げながら去っていきました。

さすがにコロナ禍とあって、以前のようにチラシを受け取ってもらえる状況にはありませんが、横断幕や訴えにも注目していただき、他の宣伝に比べると抜群の注目度でした。